

## 1. 調査の目的

この調査は、市政に関する市民の評価と意見・要望等を幅広く把握し、今後の市政運営に反映させるとともに、政令指定都市移行後の都市づくりを考える上での基礎資料として活用することを目的に実施した。

## 2. 調査の対象

市内在住の満 18 歳以上の男女 10,000 人を住民基本台帳及び外国人登録データから地域別・年齢別に考慮しながら無作為抽出。

## 3. 調査の方法

郵送による配布、回収。

## 4. 調査の期間

平成 20 年 1 月 18 日（金）～平成 20 年 1 月 31 日（木）まで。

## 5. 回収結果

発送数	10,000 通
回収数	3,358 通（回収率 33.6%） 平成 20 年 1 月 31 日到着分
有効回収数	3,358 通（回収率 33.6%）
無効回答数	0 通

## 6. 報告書の見方

- (1) 集計対象件数は 3,358 件である。
- (2) 回答は、各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示している。小数点第 2 位を四捨五入しているため、比率の合計が 100.0%にならない場合がある。
- (3) 複数回答を求めた質問では、回答比率の合計が 100.0%を超える。
- (4) 回答があっても、小数点第 2 位を四捨五入して 0.1%に満たない場合は、図表には「0.0」と表記している。
- (5) 図表において、回答選択肢を簡略化して表記している場合がある。

## (参考) 調査の精度

本調査は標本調査であるため、ここで得た調査結果から母集団の意識を推定している。調査の精度を見るため、5%区切りの主要な測定値について、信頼区間1/2幅を算出する。

(100 - ): 信頼度 (%)	68.3	90.0	95.0	95.4	99.0	99.7
: 推定を誤る確率 (%)	31.7	10.0	5.0	4.5	1.0	0.3
K ( )	1.000	1.645	1.960	2.000	2.576	3.000

備考: K ( ) は正規分布の特性から上記の表で与えられる値

調査 (標本抽出) によって得られた標本比率  $p$  を中心として、 $\pm V(p)$  の範囲を考えれば、母比率  $P$  が  $p \pm 1.96 V(p)$  の間の値である確率は95%以上である。この95%という数字は  $p - 1.96 V(p) < P < p + 1.96 V(p)$  と推定した場合、その推定の確からしさを示している。

備考:  $V(p)$ : 標準偏差 (標準誤差)  $p$ : 標本比率

算式は以下の通りとする。

$$1.96 \sqrt{\frac{\text{母集団数} \times \text{標本数}}{\text{母集団数} - 1} \times \frac{\text{測定値}(\%) (100 - \text{測定値}(\%))}{\text{標本数}}}$$

たとえば男女別のクロス集計の結果、「男性」の回答した割合が10.0%であった場合、下表により  $\pm 1.7\%$  の誤差があることが分かる、真の回答は95%の確率で8.3%から11.7%の間にあるといえる。

測定値 (%)	母集団	岡山市	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	男性	女性
	母集団数	573,663	14,427	87,959	107,529	85,042	93,467	83,949	101,290	271,868	301,795
	標本数	3,358	54	234	487	486	589	683	811	1,247	2,078
50	50	1.7	13.3	6.4	4.4	4.4	4.0	3.7	3.4	2.8	2.1
45	55	1.7	13.2	6.4	4.4	4.4	4.0	3.7	3.4	2.8	2.1
40	60	1.7	13.0	6.3	4.3	4.3	3.9	3.7	3.4	2.7	2.1
35	65	1.6	12.7	6.1	4.2	4.2	3.8	3.6	3.3	2.6	2.0
30	70	1.5	12.2	5.9	4.1	4.1	3.7	3.4	3.1	2.5	2.0
25	75	1.5	11.5	5.5	3.8	3.8	3.5	3.2	3.0	2.4	1.9
20	80	1.3	10.6	5.1	3.5	3.5	3.2	3.0	2.7	2.2	1.7
15	85	1.2	9.5	4.6	3.2	3.2	2.9	2.7	2.4	2.0	1.5
10	90	1.0	8.0	3.8	2.7	2.7	2.4	2.2	2.1	1.7	1.3
5	95	0.7	5.8	2.8	1.9	1.9	1.8	1.6	1.5	1.2	0.9

## 7. 学区別の調査結果

	小学校区名	発送数	有効回答数	有効回収率
1	岡山中央	281	85	30.2%
2	伊島	189	64	33.9%
3	津島	168	57	33.9%
4	御野	208	72	34.6%
5	牧石	118	46	39.0%
6	石井	98	24	24.5%
7	三門	145	34	23.4%
8	大野	99	35	35.4%
9	出石	58	15	25.9%
10	鹿田	236	73	30.9%
11	大元	202	61	30.2%
12	清輝	120	43	35.8%
13	岡南	234	64	27.4%
14	福浜	237	76	32.1%
15	平福	144	48	33.3%
16	芳泉	270	84	31.1%
17	浦安	99	35	35.4%
18	福島	90	34	37.8%
19	南輝	164	49	29.9%
20	旭東	97	22	22.7%
21	平井	177	50	28.2%
22	三勲	166	66	39.8%
23	宇野	264	85	32.2%
24	旭竜	67	31	46.3%
25	操南	112	35	31.3%
26	操明	109	32	29.4%
27	富山	198	86	43.4%
28	旭操	120	35	29.2%
29	西	213	68	31.9%
30	御南	146	41	28.1%
31	陵南	178	57	32.0%
32	芳田	149	39	26.2%
33	芳明	154	41	26.6%
34	甲浦	75	26	34.7%
35	小串	24	10	41.7%
36	財田	138	42	30.4%
37	竜之口	103	28	27.2%
38	高島	204	77	37.7%
39	幡多	262	90	34.4%
40	古都	79	24	30.4%
41	可知	131	60	45.8%
42	芥子山	187	64	34.2%
43	政田	56	23	41.1%
44	開成	47	27	57.4%
45	西大寺南	61	20	32.8%
46	西大寺	144	47	32.6%
47	雄神	46	14	30.4%

	小学校区名	発送数	有効回答数	有効回収率
48	豊	71	25	35.2%
49	太伯	47	22	46.8%
50	幸島	42	13	31.0%
51	朝日	38	13	34.2%
52	大宮	19	6	31.6%
53	中山	154	54	35.1%
54	馬屋下	50	20	40.0%
55	桃丘	59	22	37.3%
56	平津	58	22	37.9%
57	野谷	47	18	38.3%
58	横井	221	70	31.7%
59	馬屋上	17	8	47.1%
60	庄内	135	42	31.1%
61	加茂	68	26	38.2%
62	鯉山	51	18	35.3%
63	吉備	232	88	37.9%
64	妹尾	139	44	31.7%
65	箕島	59	15	25.4%
66	福田	161	54	33.5%
67	浮田	52	22	42.3%
68	城東台	53	19	35.8%
69	平島	76	31	40.8%
70	御休	39	15	38.5%
71	角山	20	8	40.0%
72	興除	68	30	44.1%
73	曾根	29	12	41.4%
74	東疇	109	26	23.9%
75	足守	43	11	25.6%
76	大井	22	5	22.7%
77	高田	24	13	54.2%
78	福谷	20	8	40.0%
79	第一藤田	49	19	38.8%
80	第二藤田	98	32	32.7%
81	第三藤田	43	13	30.2%
82	御津	65	29	44.6%
83	御津南	60	27	45.0%
84	五城	31	13	41.9%
85	灘崎	78	27	34.6%
86	迫川分校	31	12	38.7%
87	七区	56	18	32.1%
88	彦崎	78	31	39.7%
89	建部	56	19	33.9%
90	竹枝	13	2	15.4%
91	福渡	33	11	33.3%
92	千種	68	29	42.6%
93	江西	151	57	37.7%
	全体	10,000	3,358	33.6%

